



2025年10月30日

株式会社西日本シティ銀行

福岡地所株式会社

— 2026年夏頃 移転開業 —

西日本シティ銀行新本店ビルの名称およびフロア構成等の決定について

株式会社西日本シティ銀行（取締役頭取 村上 英之、以下「西日本シティ銀行」）および福岡地所株式会社（代表取締役社長 榎本 一郎）は、「博多コネクティッド」※1の一環として推進している西日本シティ銀行本店本館建替えプロジェクトにおいて、西日本シティ銀行新本店ビル（以下「新本店ビル」）の名称およびフロア構成等を決定しましたので、お知らせします。（2ページ以降参照）

新本店ビルは、2階に西日本シティ銀行および西日本シティT T証券株式会社（以下「西日本シティT T証券」）の本店営業部ならびにグループ総合受付、3階から9階一部に株式会社西日本フィナンシャルホールディングス（以下「西日本F H」）、西日本シティ銀行および西日本F Hのグループ会社（一部）の本社機能、9階一部から13階にオフィス、地下1階と1階に商業店舗、地下2階に「NCBホール」を配置する複合ビルです。

なお、敷地北東側には、様々なイベントに対応可能な大規模立体広場「コネクティッドコア」を設けるとともに、九州最大の交通結節点である博多駅と地下で直結し、新本店ビルは、博多駅前の賑わいを周辺につなげる「回遊のハブ」として、また「人と地域の交流拠点」として新たなランドマークとなることを目指します。

なお、新本店ビルは、2026年夏頃の移転開業予定です。



＜完成イメージ＞

※1 博多コネクティッドとは、九州の陸の玄関口として更なる発展が期待される博多駅周辺地区において、地下鉄七隈線延伸やはかた駅前通り再整備など、交通基盤の拡充とあわせ、容積率などの規制緩和により、耐震性の高い先進的なビルへの建替えや歩行者ネットワークを拡大するとともに、歴史ある博多旧市街との回遊性を高めることで、都市機能の向上を図っていくプロジェクト。



1. 新本店ビルの名称について

【名称】 「西日本シティビル」(英語名称：NISHI-NIPPON CITY BUILDING)

(シンボルマーク)



- ・ 西日本シティ銀行の本店ビルであることを連想していただけ、地域の皆さまに親しみやすく覚えやすい名称としました。
- ・ シンボルマークは、建物の特徴であるセレーション（鋸歯状）の外壁や 9 階部分に開いた開口部などを端的に表現し、建物を視覚的に印象付けるデザインとしました。

なお、シンボルマークのデザインは、^{うじ}氏デザイン株式会社※2が制作しました。

※2 氏デザイン株式会社は、東京都品川区に本社を置き、グラフィック・広告・サインなど幅広いジャンルのデザインを手掛ける法人。福岡市では、「福岡市科学館」や「なみきスクエア」などの各種サインを制作。

2. 新本店ビルのフロア構成について

(1) フロアの構成

新本店ビルのフロア構成は、下図のとおり予定しています。

14階	塔屋			
13階	⑥ オフィスフロア (9階～13階)			
9階				
4階	④ 西日本 F Hグループ執務フロア (4階～9階)			
3階	③ 応接室・会議室等			
2階	② 西日本シティ銀行 本店営業部 西日本シティ T T 証券 本店営業部		② グループ総合受付 NCBギャラリー	① コネクティッドコア (地上広場)
1階	① 商業ゾーン	ATM	エントランス	
地下1階	⑤ NCBホール、ホワイエ	駐輪場 機械室・倉庫	① 商業ゾーン	① コネクティッドコア (地下広場)
地下2階		ローン営業室、貸金庫、ATM		
地下3階	車寄せ、自走・機械式駐車場			
地下4階	機械式駐車場（車庫）			

(2) 各フロアの概要

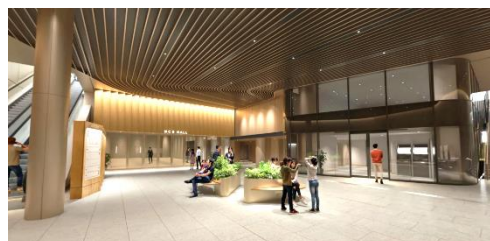
①コネクティッドコア・商業ゾーン（1階・地下1階・地下2階）

敷地北東側に設けるコネクティッドコアは、歩行者ネットワークのハブとなり、博多駅から住吉通りやはかた駅前通りへの回遊性向上に繋がります。

また、1階と地下1階には、商業テナントを誘致し、1階エントランスに、パブリックアートを展示することで、市民の憩いの場を創出します。



＜地上広場イメージ＞



＜地下広場イメージ＞

②西日本シティ銀行・西日本シティＴＴ証券 本店営業部、グループ総合受付フロア（2階）

2階フロアは、広々としたロビーや落ち着いた雰囲気の相談ブース・応接室を備え、お客さまが快適にお過ごしいただける空間を提供します。

また、西日本シティＴＴ証券の本店営業部を併設しており、銀証連携による総合的なサービスをワンストップでご提案いたします。

グループエントランスやNCBギャラリーでは、地域貢献の一環として、西日本シティ銀行が所蔵する数々の美術品を展示しお客さまをお迎えします。



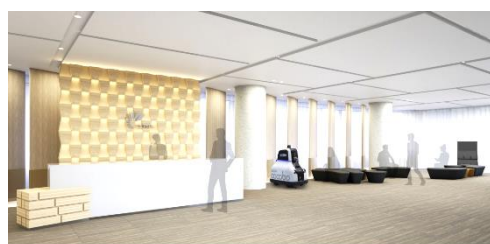
＜本店営業部総合受付イメージ＞



＜グループエントランスイメージ＞



＜相談ブースイメージ＞



＜グループ総合受付イメージ＞



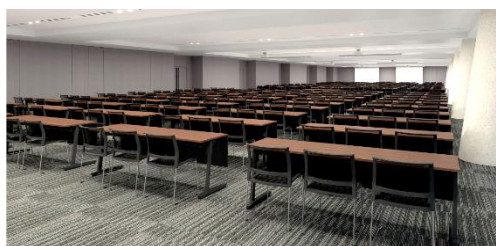
＜応接室イメージ＞



＜NCBギャラリーイメージ＞

③応接室・会議室フロア（3階）

3階フロアは、収容人数最大400名程度の大会議室のほか、中・小複数の応接室・会議室を設置します。



＜大会議室イメージ＞



＜応接室イメージ＞

④西日本F Hグループ執務フロア（4階から9階一部）

4階から9階一部は、西日本F Hグループの執務フロアとして、明るく開放的な執務空間を整備し、集中作業やディスカッションなどその時々のワークシーンに合わせた多様な働き方が可能な設えとします。

また、気軽に打ち合わせができるクロッシングスペースやエレベーターを使わずに上下階に行き来できる内階段を設け、部門間のコミュニケーション・コラボレーションの活性化に取り組みます。



＜執務室イメージ＞



＜クロッシングスペースイメージ＞

⑤ココロが響く。であいをつなぐ。「NCBホール」（地下2階）

地下2階に設置する「NCBホール」は、「ココロが響く」感動体験と「であいをつなぐ」交流を生み出す場として、クラシックコンサートや伝統芸能などの公演に加え、貸ホールとして地域の皆さまがセミナーや会社説明会などビジネスにもご利用いただける最大座席数約400席の多機能ホールです。

なお、大規模災害発生時等は、帰宅困難者の一時滞在施設として提供します。



＜ホワイエイメージ＞



＜NCBホールイメージ＞

⑥区画形成の自由度が高いハイスペックなオフィスフロア（9階一部から13階）

9階一部から13階のオフィスフロアは、博多駅前エリア最大級の基準階面積を有し、最小40坪から最大1,188坪まで、テナントニーズに応じた区画形成が可能です。これにより、多様なワークスタイルやウェルビーイングに対応できるハイスペックなオフィスを提供します。



<基準階平面図>

3. 先進的な環境認証の取得について

新本店ビルは、環境面においても博多駅前の新たなランドマークとして相応しいビルを目指し、快適な室内を実現しつつ、優れた環境配慮技術を積極的に採用することで、先進的な環境認証を取得、または取得予定です。

代表的な環境認証として、④「建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS)」の「ZEB Ready」認証（事務所用途の部分評価）を取得しました。新本店ビルのオフィスフロアは、「ZEB Ready」認証のオフィスビル部門において、全国で3番目の延床面積であり、西日本では最大規模となります。

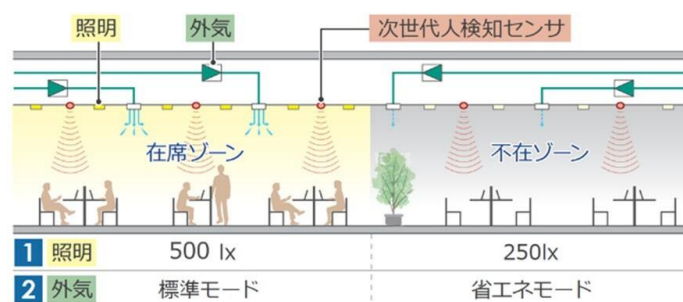
また、建物利用者の健康促進や快適性向上に着目した評価制度である「WELL 認証」においては国際的に高い水準に位置する⑤「WELL Core」でゴールドランク、建物や都市の環境性能を評価する国際的な認証制度である⑥「LEED認証」でゴールドランクの取得を予定するなど、予備認証も含めて国内外の先進的な7種類の環境関連認証を取得しています。

【環境認証】

④ BELS「ZEB Ready」認証取得 	⑤ WELL認証 (WELL Core) 「ゴールドランク」予備認証取得 
⑥ LEED認証 「ゴールドランク」予備認証取得	
⑦ DBJ Green Building認証 「5リング」プラン認証（予備認証）取得	
⑧ CASBEE福岡 「Sランク」認証取得	
⑨ CASBEE-ウェルネスオフィス評価 「Sランク」認証取得	
⑩ CASBEE SDGs 「5リング」取得（自己評価）	

■参考：環境認証取得にあたって評価された先進的な取組みについて

環境認証取得にあたって評価された先進的な取組みの一例として、新本店ビルでは2階から13階の西日本F Hグループ入居部分および・オフィスフロア部分に、次世代人検知センサー「T-Zone Saver」（以下「人検知センサー」）の導入を予定しています。人検知センサーで取得した人の在・不在情報およびエリア内人数の算定機能（在所率）を活用して、照明・空調・外気量を自動で制御し、必要な時に必要な場所だけを快適な明るさ・温度・換気量に保つことで省エネルギー化を図り、働きやすさと環境負荷軽減の両立に取り組みます。



＜次世代人検知センサー「T-Zone Saver」 イメージ＞

そのほかにも、節水コマや省水型機器、雨水利用システムによる水資源の有効活用、Low-Eペアガラスや断熱材の厚みによる外皮性能の向上、高効率空調機器の採用等により、建物全体のエネルギー性能を向上させます。

加えて、「都心の森1万本プロジェクト」※³の趣旨を踏まえ、広場や通り沿いには、四季を感じられる花や中低木のほか、帯状の壁面緑化や柱緑化、植栽一体型ベンチを配置します。特に、博多駅から明治公園へと続く通りでは、街路樹を組み合わせることで、公園まで連なる緑の空間を創出します。これらの取り組みにより、ヒートアイランド現象の抑制に寄与するとともに、まちに彩りと潤いをもたらし、来街者に快適な歩行空間と憩いの場を提供します。



＜はかた駅前通り沿いの緑化イメージ＞



＜明治公園につながる緑化イメージ＞

※³ 都心の森1万本プロジェクトとは、天神ビッグバンや博多コネクティッドにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、緑が持つ魅力により、まちに「彩り」を加え、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するため、市民や企業と共働して、新たに樹木を植え、今ある緑をより美しくするとともに、民有地における緑化誘導により、良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図り、緑豊かなまちづくりを推進する福岡市のプロジェクト。



これらの包括的な環境配慮の取組みにより、一次エネルギー消費量を新本店ビル全体で約49%、事務所部分で約50%削減するなど高い環境性能が評価され、各種環境認証の取得に至りました。今後も地域とともに、持続可能な未来を見据えた街づくりに邁進してまいります。

【物件概要】

建物名称：西日本シティビル

所在地：福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号

敷地面積：約 5,230 m²（約 1,582 坪）

建築面積：約 5,085 m²（約 1,538 坪）

延床面積：約 75,704 m²（約 22,900 坪）

階数：地上 14 階、地下 4 階

高さ：59.7m（地盤面からの高さ）

用途：銀行、事務所、店舗、駐車場等

構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

耐震性能：免震構造（地下 3 階柱頭免震）

着工：2023 年 11 月

竣工：2026 年 3 月頃（予定）

開業：2026 年夏頃（予定）

事業主：特定目的会社 Walk

設計：株式会社日建設計（基本設計）・

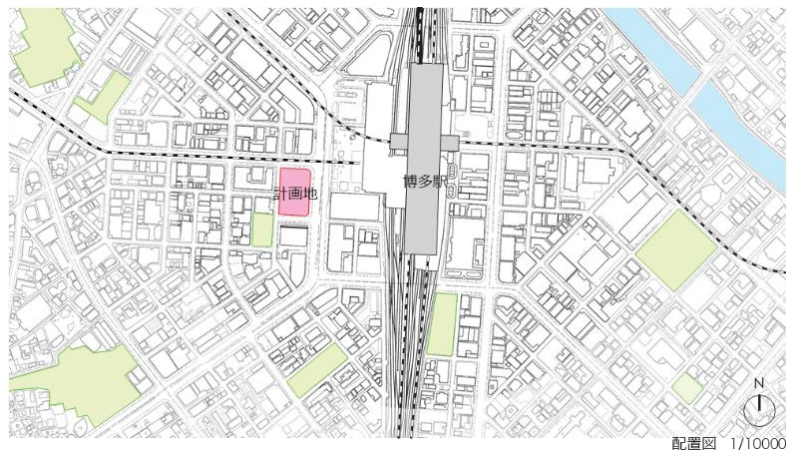
大成建設株式会社一級建築士事務所（基本設計・実施設計）

デザイン：3XN Architects（3XN Australia Pty. Ltd.）

施工：大成建設株式会社

*記載内容については、今後の工事の進捗等により変更が生じる場合があります。

【位置図】



＜本件に関するお問合せ＞

株式会社西日本シティ銀行

総務部 新本店プロジェクトチーム TEL 092-476-2805

福岡地所株式会社

企画部 広報担当 TEL：092-272-2787